

9月のこどもたち



緊急事態宣言延長で自由登園となり、
広い園庭が益々広く感じられるのはこ
どもの人数の少なさ故ではなく、澄み渡る
秋空の成せる技？
「天高く馬肥ゆる...」って言うではあ
りませんか。雨続きだった9月でしたが、気
がつけば、金木犀の甘い香りが、園庭一杯
に漂う...そんな季節になりました。



自粛期間中、ひとクラスおおよそ3、4人～多くて8、9人のこどもたちが毎日登園して来ます。少ない人数でも
「楽しい」を感じて欲しいと、先生たちはアレやコレやと、色々な遊びを提供していますが、こどもたち自身から
「〇〇やりたい」と発信してくれることも多く、その願いを実現させるべく、準備に暇がありません。

自然環境に恵まれ、原っぱや森に毎日出掛け、虫探しも飽きることの無いこどもたち。目下の課題は、蚊からいか
に身を守るか(笑)です。お散歩に出かけると、不思議な事に、こどもはおしゃべりになります。歩きながら、お家の
こと、お友達の事、いろんな話を(勝手に)してくれます。えっ？そんな事言っちゃっていいの?なんてことも...

自由な時間は、年長さんだからとか、年少さんだからとか、こどもだからとか、大人だからとか、という垣根がな
くなるような気がします。みんなが「なかま」となって、思いあって過ごす時間。そんな9月の毎日です。

それにしても...「はやく、みんなに会いたいなあ」お家のみんなも、おんなじ気持ちでありますように...

9月のコラム

細かな違いに気づいたり

その違いに基づいて 分類する事も必要

利用できるか 利用できないかを 判断することも必要

なぜそうなったのか 結果から 考察する事も必要

でも それらと同じか それ以上に

わたしと同じで あることに気づいたり

そのものの身になって 世界を見渡したり

そのものが 生きてきたプロセスに 思いを馳せることは

これからの時代の教育にとって必要 小西 貴士

